

RYOBI

®

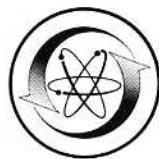
変速振動ドリル 2スピード振動ドリル

PDE-1930A・PD-1930A

取扱説明書

ご使用前に本取扱説明書をよくご覧の上ご使用くださるようお願いいたします。

6982679 (M)



電子制御



PDE-1930A
(変速振動ドリル)



PD-1930A
(2スピード振動ドリル)

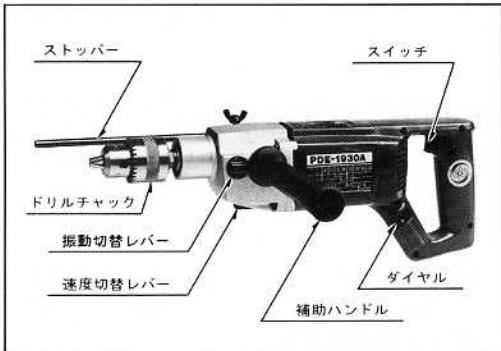
●ご使用に当りましての注意事項

ご使用前には必ず取扱説明書を十分読み、指定された以外の用途にはお使いにならないで下さい。

- 壁や床など電気の配線がある個所に穴をあける時は、チャックや刃物、又本体の金属部分には絶対に手を触れないで下さい。たとえ電線に刃物が当っても感電することのないようにプラスチックのハンドルと補助ハンドル部分だけでドリルを持つようにして下さい。
- 電圧は銘板の表示と一致しているか必ず確認して下さい。100V用のモーターを200Vで使用されると、モーターを焼損するのみでなく、高速回転となり危険です。逆に低い電圧で使用しますと力不足となります。
- 製品は大事に取扱って下さい。誤って落したり、ぶつけたりした場合は異状の有無を確認した後ご使用下さい。
- 運転中は刃物及び可動部には絶対に手を触れないで下さい。大変危険です。
- 能力を超えた作業は事故のもとです。刃物は常に良い切れ味にしておき、回転数を上げた後、加工を始めて下さい。安全で能率よく、きれいな仕上面が得られます。
- 湿った場所、ぬれた場所での使用は避けて下さい。感電事故のもとになり、モーター絶縁を低下させます。
- 安全な作業をする為には作業場はいつもきれいに整理をし、十分な照明が必要です。ちらかした作業場は事故のもとです。
- 作業場所には作業関係者以外は近づけないで下さい。特にお子様は危険です。
- 作業時の服装は身軽なもので行って下さい。ネクタイ、袖口の開いた服装は機械の可動部に巻きこまれる恐れがあります。屋外の作業はゴム底の運動靴をはいて下さい。
- 本機はお子様の手の届かない所に保管し、湿度の高いところ、雨のかかるところ、直射日光のあるところは避けて下さい。
- 調整用スパナ、レンチ、ドライバー類は使用後はすぐに外すようにして下さい。スイッチを入れる前には、調整用スパナ、レンチ、ドライバー類が外してあるかをよく確認して下さい。
- さし込みプラグを電源にさし込む前に、スイッチが切れていることを確認し、使用後及び停電の際にはさし込みプラグを抜くように心掛けて下さい。
- 整備点検、部品交換の際は必ずスイッチが切れていることを確認し、さし込みプラグを電源より外して下さい。
- 運転中機械の調子が悪かったり、異状に気付いた時には、直ちに使用を中止して下さい。
- 作業中は安全メガネをかけて目を保護して下さい。
ほこりの多い作業にはマスクが必要です。
- 刃物は使用説明に従い、完全に取付けた状態でご使用下さい。不完全な取付けで運転しますと刃物が抜けたり折損する場合があり非常に危険です。
- スイッチを入れる前には、本体をしっかりと保持し、モーターの回転による反力を振り回さないようにして下さい。
- 安全で能率よく作業をしていただく為には、作業前の機械の点検と定期点検が必要です。点検はお買い求めの販売店、全国各地のリョービ電動工具販売店、リョービ販売営業所にお問い合わせ下さい。

●特 長

- 2段ギヤー変速機構と、電子制御回路を併用しており、200～1400R.P.Mの範囲内で無段階に速度調整が出来、用途に応じた使いわけが可能です。(PDE-1930A)
 - 強力な回転力と打撃力により、コンクリート、タイル、石材等への穴あけがスピーディに出来ます。又、回転に切り替えることにより、電気ドリルとして、金属、木材、プラスチック等の穴あけにもご使用頂けます。
 - 710Wの強力パワーにもかかわらず、非常に軽く、長時間作業にも疲れを感じません。
 - 安全な二重絶縁構造により、安心してご使用頂けます。



(写真は PDF-1930 A)

仕様

電圧	100V
電流	7.5A
消費電力	710W
回転数		
高速	… 400 ~ 1400 R.P.M	(PDE-1930A)
低速	… 200 ~ 1400 R.P.M	(PD-1930A)
	… 700 R.P.M	(PDE-1930A)
	… 700 R.P.M	(PD-1930A)

●通常付属品

補助ハンドル ストッパー
ストッパー保持金具

●特別付属品（別販売）

コンクリートビット	$\phi 5 \times 85$	$\phi 8.5 \times 125$	$\phi 14.3 \times 170$
	$\phi 6.5 \times 100$	$\phi 11 \times 150$	$\phi 17.5 \times 170$
	$\phi 7.5 \times 125$	$\phi 14 \times 160$	$\phi 19 \times 170$

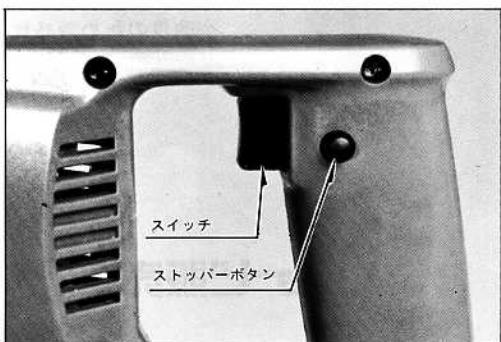
●スイッチ

スイッチ操作はスイッチを引くと入り、離すと切れます。

またスイッチを引いた状態で握り部の側面にあるストッパー ボタンを押すとスイッチから指を離しても、スイッチは入ったままになります。

この場合、再度スイッチを引くとストップボタンがはずれスイッチは切れます。

連続使用の場合は、このストッパー ボタンをご利用下さい。

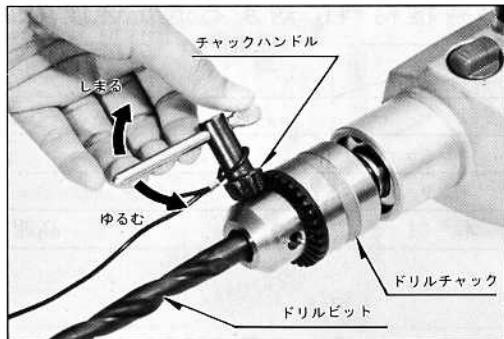


● ドリルビットの取付

ドリルビットの取付はチャックの奥に必ず当るように入れ、チャックの締付は3ヶ所が均等になるように締付けて下さい。

チャックの奥にドリルビットを当てない状態で使用されると、ドリルチャックがゆるみ、ドリルチャックやドリルビットに傷をつけることがあります。

(注) コンクリート穴あけ中、ビットの先に油又は水等で急冷することは絶対に避けて下さい。(切れ味が悪くなる為)



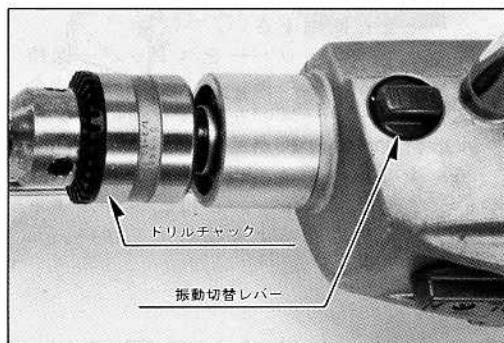
● ドリル・振動ドリル切替方法

ドリル使用……切替レバーの"D"の印をドリルチャック側に回転させ、切替レバーが水平になるようにセットして下さい。

(レバーに軽くストップがかかる位置)

回転(ドリル)作用のみとなります。

振動ドリル使用……切替レバーの"H"の印をドリルチャック側に回転させ、切替レバーが水平になるようにセットして下さい。(レバーに軽くストップがかかる位置)
回転プラス振動作用を持ちます。



● 速度切替方法

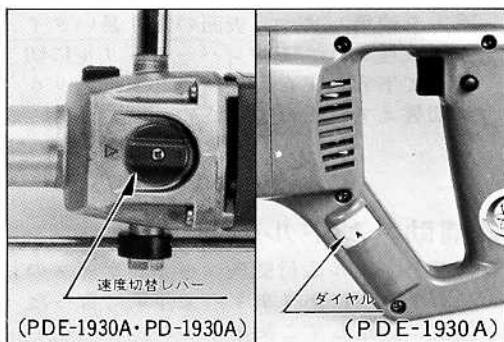
(PDE-1930A・PD-1930A)

回転速度をギヤー変速させる場合は、速度切替レバーを回転させ、「H」を矢印に合わせた場合は高速回転になり、「L」を矢印に合わせると低速回転になります。

※ギヤーが入りにくい場合は、ドリルチャックを手で回しながら、確実にギヤーが入るよう切替レバーを操作して下さい。

(PDE-1930A)

電子制御回路による变速は、ハンドル部のダイヤルを回転させることにより高速「H」でA(400R.P.M)～F(1400R.P.M)、低速「L」でA(200R.P.M)～F(700R.P.M)迄無段階に調整が可能です。

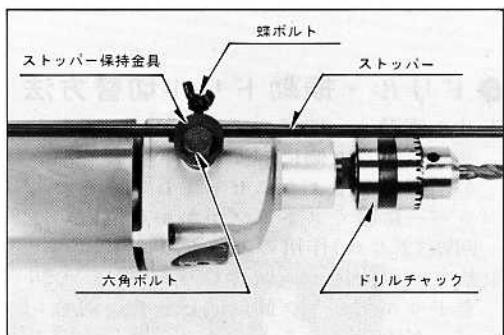


●各種材料に対する適正速度の目安(PDE-1930A)

材料	ビット径 4 mm	6 mm	8 mm	10mm	13mm	16mm	19mm	30mm
鉄	高速-F	高速-D	低速-F	低速-D~F				
アルミニウム	高速-F		高速-E	高速-D				
コンクリート	高速-F			高速-D	低速-F	低速-E		
木 材		高速-F				高速-E	高速-D	

●ストッパーの取付け

- 同じ深さに数個の穴をあける場合にストッパーをご使用下さい。
- 蝶ボルト、ストッパーをストッパー保持金具にセットした後、ストッパー保持金具をギヤーケースの左右2ヶ所のハンドル取付穴のいずれかにあてがい、スパナ等を使用して六角ボルトで固定して下さい。この時、ストッパーは、ドリルチャックと平行になるようにして下さい。



●穴あけ方法とキリの選び方

- コンクリート・石材にはコンクリートビットを使用します。表面の滑り易いタイル、大理石は、切替レバーをドリルに切替えて下穴加工を行った後、振動ドリルに切替えて使用して下さい。

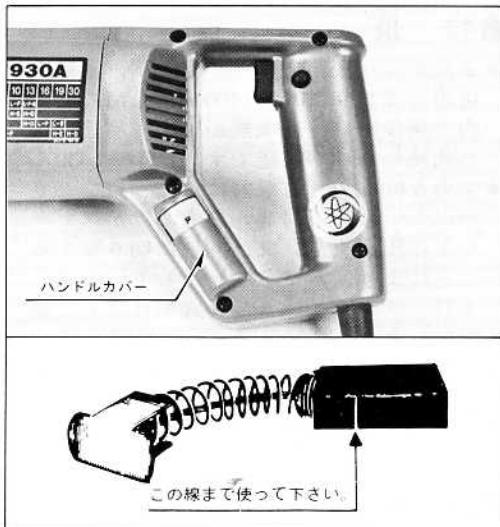
- 金属・プラスチックには、普通のキリをご使用下さい。

●補助ハンドルの取付け

- 補助ハンドル取付個所はギヤーケースの左右2ヶ所にありますので作業に合った位置に固定してご使用下さい。
- 補助ハンドルは右にまわすと締り、左にまわすとゆるみます。

●使用後のご注意

- カーボンブラシの全長の $\frac{1}{3}$ 以下、即ちカーボンブラシの横の線まで短くなりましたら新しいカーボンブラシと交換して下さい。
短くなったカーボンブラシをそのまま使っておられますと、モーター焼損の原因になることがあります。
- カーボンブラシの交換はハンドルカバーを取り外し、ブラシホルダーを引出して行って下さい。



部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明の点があった場合にはご遠慮なく全国各地のリョービ電動工具販売店、リョービ販売営業所にお問い合わせ下さい。

※改良のため製品仕様が変わることあります。

発売元

 **リョービ販売** 株式会社
RYOBI

 **リョービ** 株式会社
RYOBI